

土木工学科 シラバス(授業計画)作成要領 (土木工学科 JABEE 対応シラバスの作成)

土木工学科教育点検 WG

土木工学科学生が受講する科目のシラバスは、学部作成の「シラバス(授業計画)作成要領」に従って作成してください。この要領では、その中で、特にご注意頂きたい点、JABEE の基準に不足する点について示します。

1. 科目名・英語科目名・単位・担当者・開講学期・開講学科・必修/選択
教務課にてデータを作成し登録します。また、必修/選択の区分は登録期間終了後に教務課で一括登録を行いません。
2. DP・CP
教室・学科で決めた DP、CP の項目番号を、必ず記入してください。
3. 授業の概要(文字・行制限:全角 74 文字×8 行以内)
 - ① 教育目標
当該授業が、受講生に何を獲得させることを目標にしているのかを記述します。その際に「～を理解する」、「～ができるようになる」など、具体的な達成目標を箇条書きで記述してください。
 - ② 授業の概要
授業内容の概要、および、教育目標を達成するための授業方法について記述してください。
4. 授業計画(文字・行制限:全角 36 文字×24 行以内×2 面)
 - ・ 授業を 15 回に区分して(半期の科目)、1 回目から 15 回目まで毎回の授業計画を作成してください。15 回目に授業内試験を行なう場合には、「授業内試験および解説」と記述してください。
 - ・ 15 回区分が原則ですが、授業の性格上、どうしても回数に分けて作成できない場合は、授業回数 2 回分程度を 1 区分としてください。授業回数 3 回以上を 1 区分とすることは、できるだけ避けてください。
 - ・ **1 回は 1 校時になります。実験・実習科目等、2 校時にわたって実施する授業では、2 回になります。**
 - ・ **複数の教員で担当する授業では、各回毎に担当者名を記載することを原則としてください。**
 - ・ **担当する回数は原則として、年度初めに実施する『時間数調べ』での時間数と一致するようにしてください。**
 - ① 受講に当たっての留意事項
関連授業科目、履修順序、授業の運営方法、受講生への要望などを記述してください。
記述例:
 - (1) 関連授業科目は「○○」、および、「△△」であり、あわせて履修することが望ましい。
 - (2) 毎回授業の最後に小テストを実施する。解答はポータルサイトの「授業資料」にアップするので、必ず復習すること。
 - (3) 講義中に随時、教科書中などの演習問題を行い理解の助けとする。また、自習のため適宜宿題も出す。
 - (4) 授業中の私語は厳禁。
 - (5) 座席は 2 人がけの固定席である。最初の授業の時に座席を決める。

② 達成度評価の方法

教育目標に対する達成度を、授業内容のどの部分で、どのような方法で評価するのか記述してください。また、評価における教育目標の達成割合も記述してください。なお、評価は複数の方法で行うことを基本としてください。

記述例：

- (1) 「○○」、「△△」、「□□」、および、「**」（○○、△△等の記号には、授業内容または単元が入る）のそれぞれについて、理解度を調べるため毎回授業時に小テストを行なう。これら全項目について定期試験で総合的に達成度を評価する。小テスト・定期試験共に、評価における「達成目標①」、「達成目標②」、および、「達成目標③」の割合はそれぞれ、35%、35%、および、30%である。
- (2) 各項目の学習後に、レポート問題により各項目の理解度を調べ、中間達成度を点検する。定期試験ではこれら全項目について、総合的に達成度を評価する。小テスト・定期試験共に、評価における達成目標①、②、③の割合はそれぞれ、35%、35%、および、30%である。

③ プログラムの達成目標との対応[JABEE 基準対応項目]

プログラムの学修・教育目標の達成に、どのように寄与するかを記述します。土木工学科学修・教育目標と科目の対応表を参照の上、必ず記述してください。また、7年次生以上(平成24年度入学生以前)では、対応する学修・教育目標が異なりますので、できるだけ7年次生以上に向けた記述もお願いします。

記述例：

- (1) この科目は、土木工学科プログラムの学修・教育目標のうち(A)の達成に寄与する。
- (2) この科目は、土木工学科プログラムの学修・教育目標のうち(A)の達成に寄与する。また7年次生以上では、(A-1)の達成に寄与する。

5. 授業を受ける前の準備学習等(文字・行制限:全角 70 文字×2 行以内)

この授業を受ける前に受講すべき授業名や、学習しておくことを記述してください。

記述例：

- (1) 化学 I のモル計算を復習しておくこと。
- (2) 教科書を事前に通読しておくこと。

6. 成績評価法(文字・行制限:全角 70 文字×1 行以内)

評価方法の評価に占める割合(%)と合格点を、必ず具体的な数値で明記してください。合格点は必ず、60 点以上としてください。このことは、学部要覧に記載されています。出席点を成績評価に含めても構いませんが、a)出席点の割合は、30%程度以下を目安にし、b)「出席点」ではなく、「授業への積極的参加」や、「口頭試問点」等、具体的な出席点の評価方法を記述してください。また、出席不良の学生が合格しないように、出席数の目安を必ず、具体的に記述してください。

なお、土木工学科では、原則として出席点は認めず、また、出席数は全出席を原則とし、やむを得ない理由で欠席した場合でも、2/3 以上の出席を成績評価の最低基準にしています。「80%以上の出席」をはじめ、2/3 以上の出席を評価の基準にして頂くことも可能です。

記述例：

- (1) 定期試験 60%、レポート 20%、小テスト 20%を総合して 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。全出席が原則であるが、やむを得ない事由で欠席した場合でも、出席数が 2/3 未満の学生は、採点しない。
- (2) 実技試験 40%、レポート 20%、筆記試験 10%、授業への積極的取り組み 30%を総合して 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。全出席が原則である。やむを得ない理由の欠席でも 80%以上の出席がない者、また、レポートを提出しない者は、単

位修得資格を失う。

7. 教科書(文字・行制限:全角 70 文字×2 行以内)
書名、著者名、出版社名。定価等を記述してください。教科書を使用しない場合は「プリントを使用」、または、「用いない」としてください。
8. 参考書(文字・行制限:全角 70 文字×2 行以内)
必ず 1～2 冊指定してください。未定の場合は「授業中に指示する」でも結構です。
9. オフィスアワー(文字・行制限:全角 70 文字×2 行以内)
オフィスアワーは、必ず設定して記述してください。
 - ・ 週に 1 回はオフィスアワーを設け、曜日・時間・場所を明記してください。
 - ・ 1 回当たり 90～120 分程度として設定してください。
 - ・ 実験科目などの必修科目の時間帯での設定は、可能な限り避けてください。
 - ・ 来室する学生に対して持参するものなどがある場合は、その旨記述してください。
 - ・ メールによる質問を可とする場合は、その旨記述してください。

[非常勤講師の先生へ]

- ・ 非常勤講師の場合は、部屋名等(号館階室)の連絡できる場所を記載してください。
- ・ 時間外の学生の質問に対応するために、メールアドレスのご記入をお願いします。授業用メールアドレスの作成、および、設定が事情により困難な場合には、大学で作成可能ですので、ご連絡ください。(連絡先 ☎024-956-8622)

10. 備考(文字・行制限:全角 70 文字×2 行以内)
必要がある場合に記載してください。
11. URL(文字・行制限:全角 70 文字×1 行以内)
ホームページ以外で学生に閲覧させたいコンテンツ等がある場合、リンク先の URL を記載してください。なお記載に当たっては、リンク可能であることを必ず確認すると共に、内容を確認し、大学として推奨できるもののみとしてください。
12. その他
 - ・ 同一科目を複数の教員が担当する場合、教育内容や評価に関し、担当方で学生に不利益が生じないよう、緊密に連絡を取ってください。
 - ・ 成績評価で用いた代表的な答案(期末テスト、定期試験)等で、採点結果が 60～69 点の答案を、速やかに提示できるようにしてください。また、これらのうち最低 1 部を複写したものは、講義自己点検記録として提出して頂きます。ここで、提出して頂く答案は、学生の最終評価での可否とは関係なく、その答案単独での結果が 60～69 点であることにご注意ください。(最低評価点で合格した学生の答案類をまとめることは不要です。)
 - ・ 複数の方法で評価を実施した場合、それぞれの評価点数を示す一覧表を作成して下さい。また、評価に用いた試験類、レポート類、作品類、実技試験や口頭試問での問題の内容を記述した用紙と、それらの正答例、および、配点を記載したものを、準備して下さい。これらは、講義自己点検記録として提出して頂きます。

【土木工学科学生受講科目に係るシラバス作成における問い合わせ先】

土木工学科教育点検 WG ☎024-956-8705(土木工学科センター)
センターから WG 構成教員に転送致します。

以上